



株式会社 トリケミカル研究所
第30期(2008年1月期)
決算説明会

大阪証券取引所ヘラクレス市場
証券コード: 4369

2008.3.26

目次

1. 2008年1月期連結業績	3	2. 中期経営計画	13
08年1月期連結業績の概要	4	中長期的な成長のための課題	14
連結業績総括	5	中期経営計画(基本方針)	15
販売実績	6	中期経営戦略(1) 開発戦略	16
損益計算書	7	中期経営計画(2) 新事業探索	17
貸借対照表	8	中期経営計画(3) 事業規模拡大への対応	18
キャッシュフロー計算書	9	中期経営計画(数値目標)	19
売上分析(ユーザー地域別)	10	09年1月期通期戦略	20
売上分析(製品用途別)	11	09年売上予想分析(ユーザー地域別)	21
売上分析(Si半導体)	12	09年売上予想分析(製品用途別)	22
		09年売上予想分析(Si半導体)	23

この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。あくまでも将来の予測であり、様々なリスクや不確定要素により、実際の業績とは大きく異なる可能性がございますことをあらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

1.2008年1月期連結業績

08年1月期連結業績の概要

単位：千円

	07年1月期	08年1月期	前期比	07.12.26 予想	予想比
売上高	2,701,354	3,601,779	133.3%	3,610,000	99.8%
営業利益	346,626	686,622	198.1%	630,000	109.0%
経常利益	328,714	628,113	191.1%	580,000	108.3%
当期純利益	190,915	369,798	193.7%	348,000	106.3%
1株当たり 当期純利益	77.37円	66.51円	86.0%	62.59円	106.3%

連結業績総括

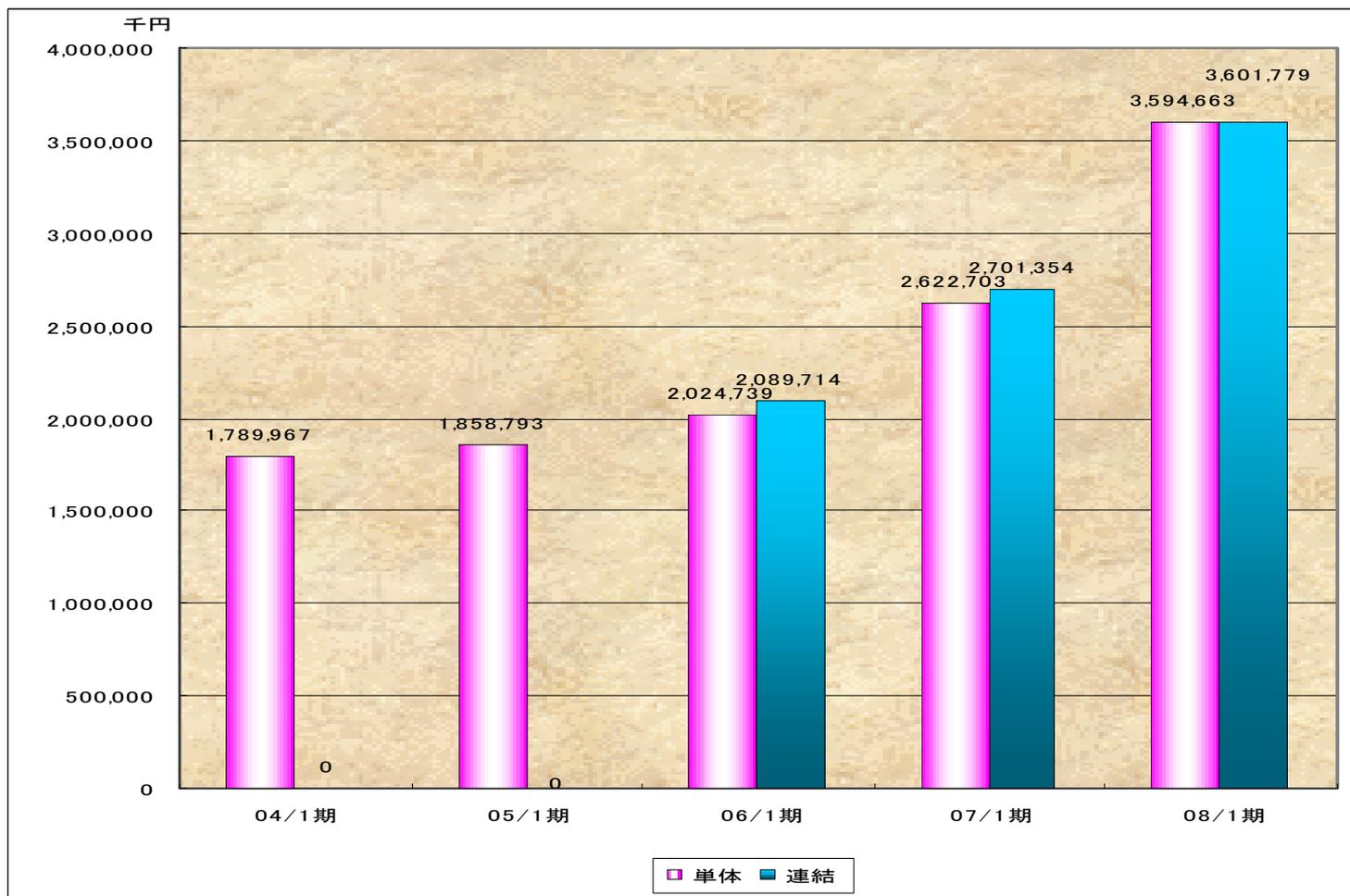
売上高: 3,601百万円 前期比 133.3%

**！シリコン半導体向け売上が4割増、光ファイバー向けも堅調
！台湾向け売上が9割増**

営業利益:	686百万円	前期比	198.1%
経常利益:	628百万円	前期比	191.1%
当期純利益:	369百万円	前期比	193.7%

！増収に伴い収益力も向上し、利益は前期比倍増

販売実績



単位:千円

！主に先端半導体向けのCVD材料の伸びが業績に寄与

損益計算書

	07/1期	08/1期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	2,701,354	3,601,779	900,425	33.3%
営業利益	346,626	686,622	339,995	98.1%
経常利益	328,714	628,113	299,398	91.1%
当期純利益	190,915	369,798	178,882	93.7%

単位:千円

！ 営業利益率:前期12.8%→19.1%に上昇

！ 生産効率化、高採算製品の売上増による原価率改善 前期52.7%→51.7%

！ 物流・その他経費の削減取組みによる販管費伸び率抑制 前期比12.9%増

貸借対照表

	07/1期末	08/1期末	増減額
流動資産	1,466,820	2,057,043	590,222
固定資産	1,362,678	1,746,797	384,119
資産合計	2,829,498	3,803,841	974,342
流動負債	1,298,377	1,372,630	74,253
固定負債	292,305	186,626	-105,679
負債合計	1,590,683	1,559,257	-31,426
株主資本	1,231,092	2,239,968	1,008,875
評価・換算差額等	7,723	4,615	-3,107
純資産合計	1,238,815	2,244,584	1,005,768
負債純資産合計	2,829,498	3,803,841	974,342

単位：千円

主な増減要因

資産

＜増加＞	売上増に伴う売上債権及び棚卸資産の増加	548,947
	量産化のための土地取得等による有形固定資産の増加	370,246

負債

＜増加＞	短期借入金及び増益に伴う未払法人税等の増加	257,686
＜減少＞	社債償還及び長期借入金の返済による減少	325,422

純資産

＜増加＞	新株発行及び純利益の計上による増加	1,009,846
------	-------------------	-----------

キャッシュ・フロー

	07/1期末	08/1期末	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	16,303	118,212	101,909
投資活動による キャッシュ・フロー	-71,001	-522,659	-451,657
財務活動による キャッシュ・フロー	51,591	432,309	380,718
現金及び現金 同等物の増減額	-3,414	26,767	30,182
現金及び現金同等 物の期末残高	103,760	130,528	26,767

単位：千円

主な増減要因

営業CF

<増加>	税前純利益計上	628,113
<減少>	売上債権の増加	427,595

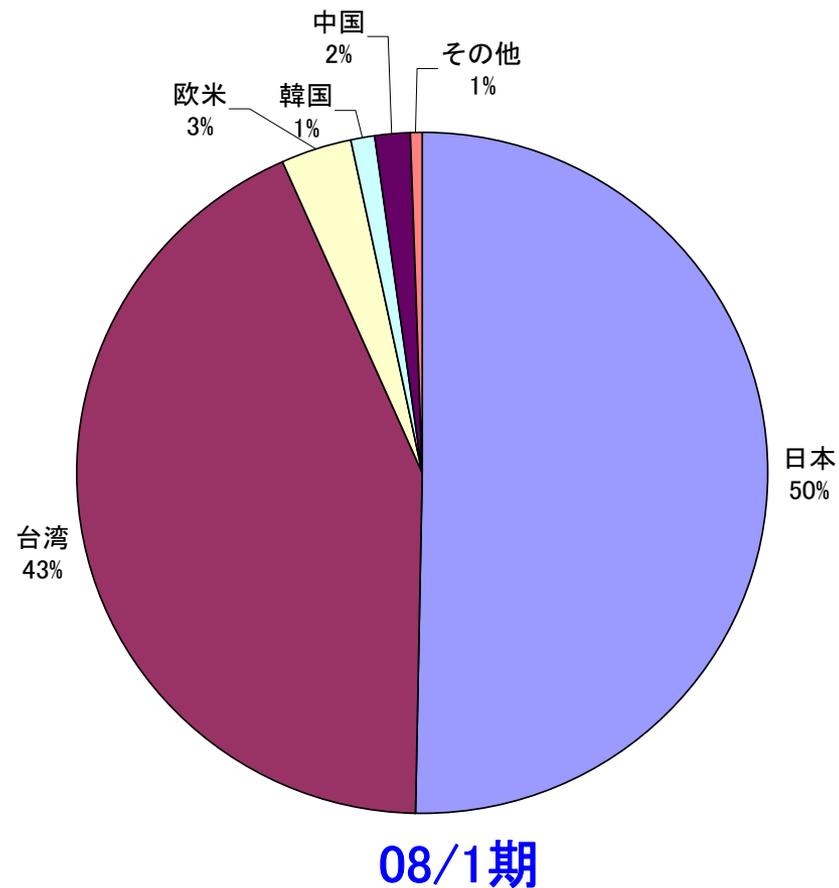
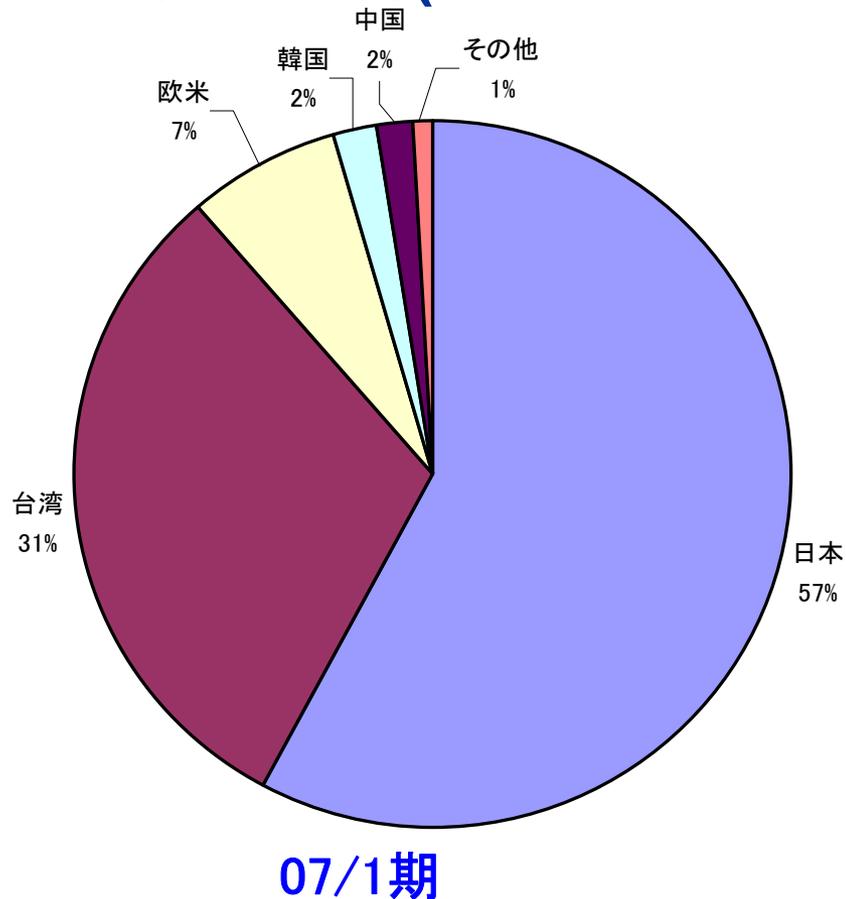
投資CF

<減少>	有形固定資産の取得	530,170
------	-----------	---------

財務CF

<増加>	短期借入れによる収入	157,000
	株式の発行による収入	640,048
<減少>	長期借入金返済、社債償還 による支出	363,768

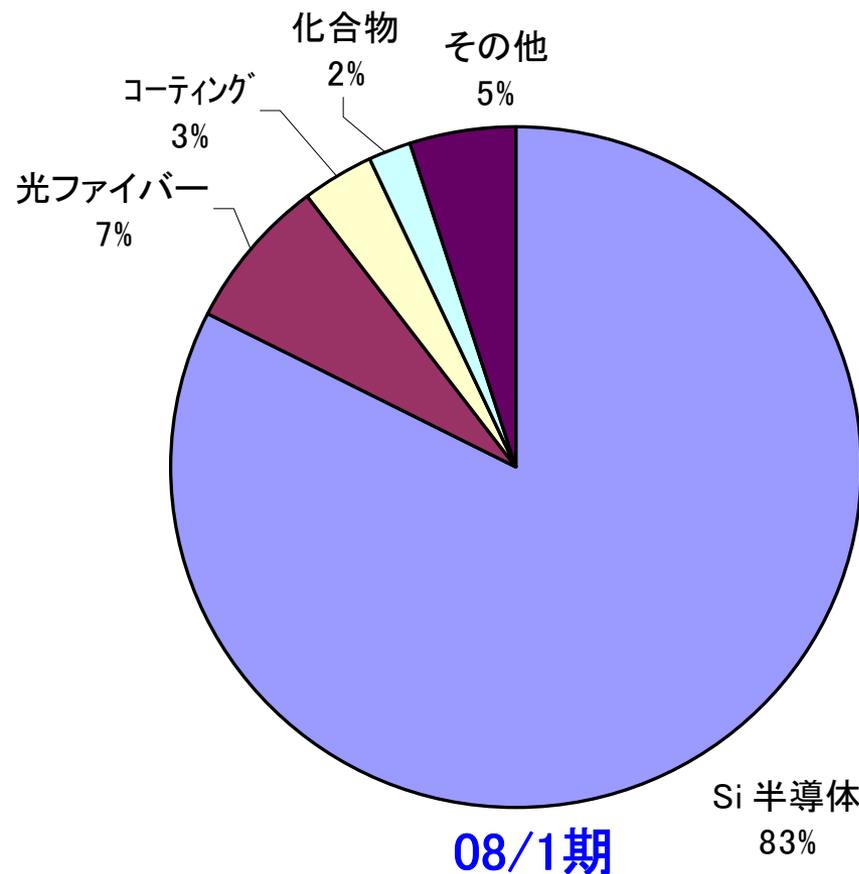
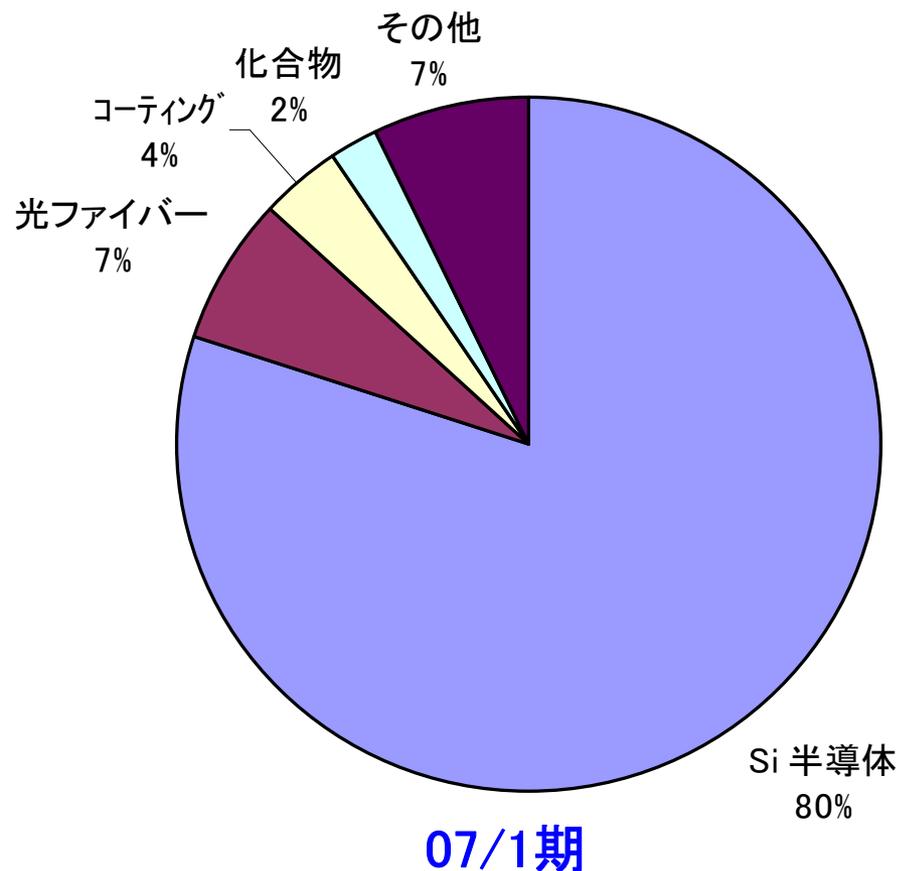
売上分析(ユーザー地域別)



！国内：海外売上比1：1を達成

※当社推定による概算値

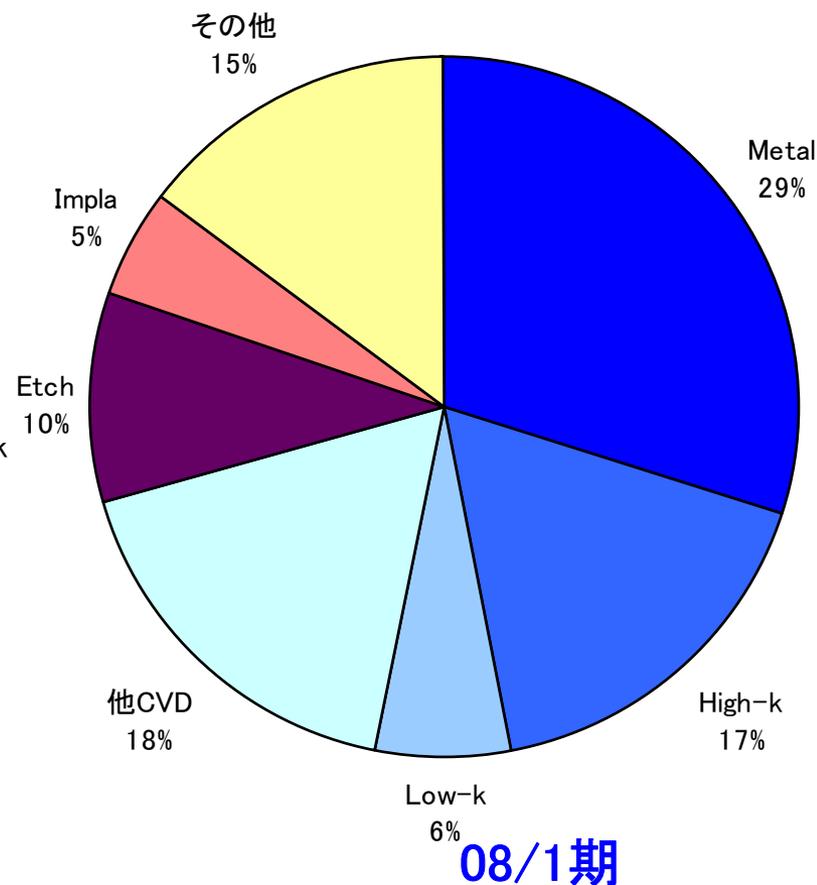
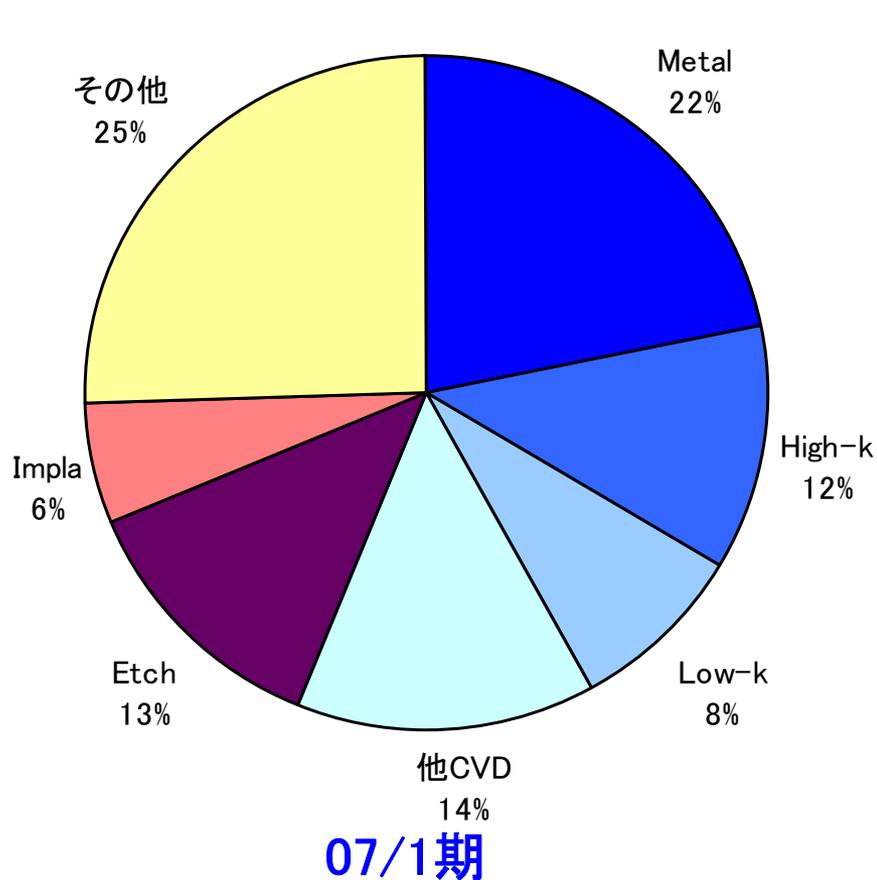
売上分析(製品用途別)



！各分野ともに増収基調で推移
！主力のSi半導体向けの顕著な伸長

※当社推定による概算値

売上分析(Si半導体)



！ 広義のCVD向け薬品が増加
！ 特にバリアメタル・High-Kの伸びが顕著

2. 中期経営計画

中・長期的な成長のための課題

1.半導体への偏重

- ・半導体向け売上が8割を超える状況
- ・現状の当社の成長要因はほぼ半導体向けの売上増
- ・半導体メーカーの一部メモリー向け投資の削減？
- ・他方最先端半導体については旺盛な投資意欲

2.販売地域の偏重

- ・日本及び台湾向けの売上が約9割を占める

3.生産能力の限界

- ・当社の強み=少量多品種によるきめ細かなサービスを保持しつつも更なる成長のためには生産能力の向上が必須

中期経営計画(基本方針)

1.開発・マーケティング体制の再構築

中核事業であるシリコン半導体分野における
最先端分野の研究開発のさらなる推進

2.新事業探索

シリコン半導体、光ファイバー分野以外の
新たな事業の柱の模索

3.事業規模拡大への対応

生産力の増強と業務効率向上

中期経営戦略(1)開発戦略

当社の生命線である最先端研究開発体制の再構築・強化

1.プロジェクトチーム方式の導入

当社の強み＝開発・製造・販売が一体となった開発体制の更なる強化
柔軟な組織構成・連携体制の構築

2.研究・開発テーマの2極化

原則比較的短期(3年程度)の研究開発テーマに注力しつつ
長期的研究テーマ(ex:他分野への進出模索)への取り組みも並行

3.外部との連携の強化

- ・大学・研究機関との共同研究
 - ・半導体メーカーとの共同研究
 - ・半導体製造装置メーカーとの連携
 - ・他分野メーカー、化学メーカー等との連携等
- これらから次代の成長ドライバーの探索

中期経営戦略(2)新事業探索

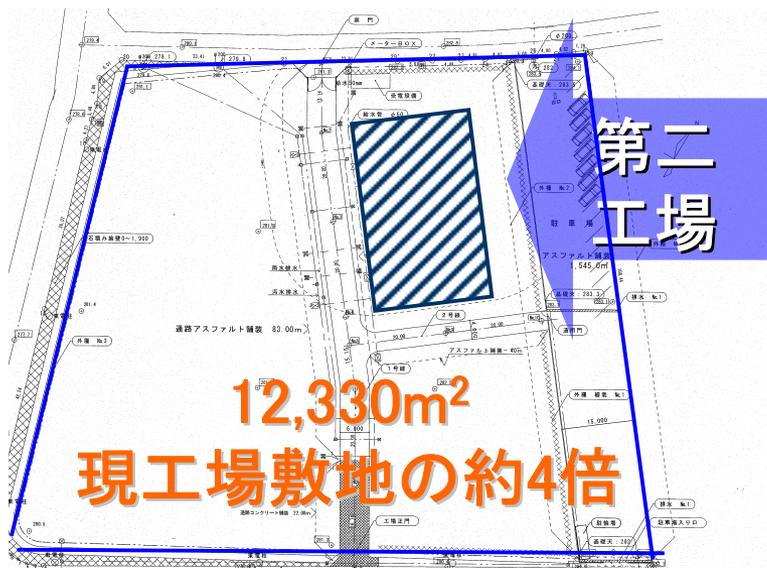
1. 既存製品の転用

・既存の“ウルトラファインケミカル”の中から他分野に活用でき、
新事業の柱になりうる候補商品を探索
ex: コーティング・太陽電池etc.

2. 既存保有技術の応用

・当社の高純度化学薬品“ウルトラファインケミカル”製造の中で培った
合成・精製技術、ハンドリングノウハウの他分野への応用を模索
ex: 有機合成用触媒・医薬中間体等幅広く

中期成長戦略(3)事業規模拡大への対応



上野原第二工場

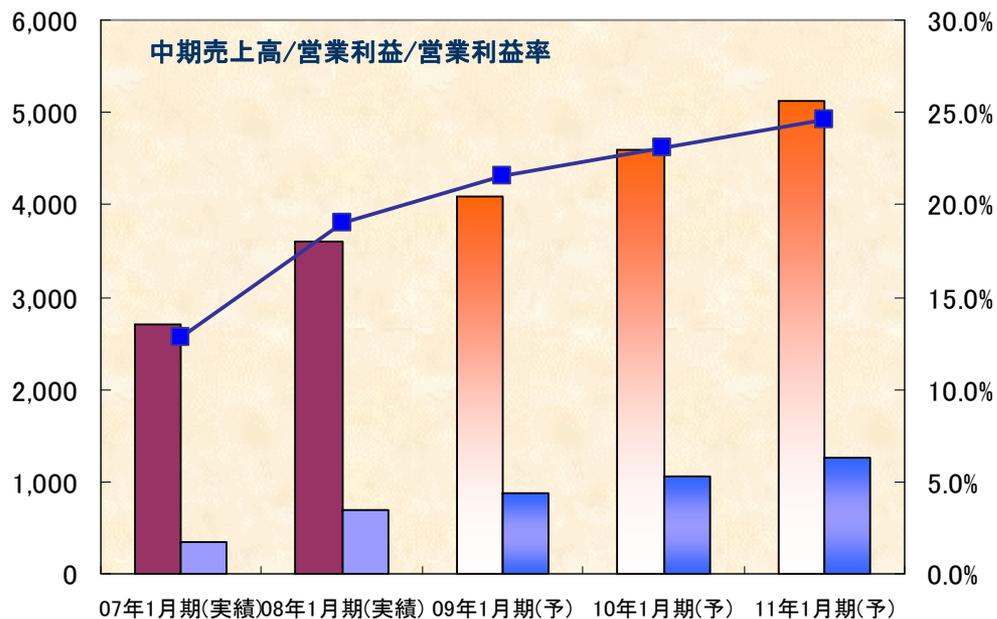
- ・本年12月竣工予定の「上野原第二工場」稼働とともに増産体制を整備
- ・「中量生産」に対応し、生産の合理化・成長へ向けての販売量拡大
- 一部主力製品のキャパシティ倍増
- 3年以内に10数億円規模の生産を予定

その他

台湾でのビジネス拡大

- ・現地体制を強化
- ・近隣中国語圏への進出推進
- 日本/台湾以外の他地域戦略の強化
- ・子会社、J/V戦略

中期経営計画(数値目標)



定量目標

- a) 2ケタ成長の持続
- b) 売上高50億円の達成
- c) 経営全体を効率化し、利益率を大幅に改善

	07.1期	08.1期	09.1期(予)	10.1期(予)	11.1期(予)
売上高	2,701	3,601	4,090	4,590	5,130
営業利益	346	686	880	1,060	1,260
経常利益	328	628	870	1,050	1,250
純利益	190	369	520	630	750
1株あたり利益(円)	77.37	66.51	76.37	92.53	110.15

金額単位:百万円

2009年1月期 通期戦略

1.現状の成長ドライバの維持

- ・高付加価値の先端CVD材料の拡販
- ・世界の半導体工場となりつつある台湾市場への注力

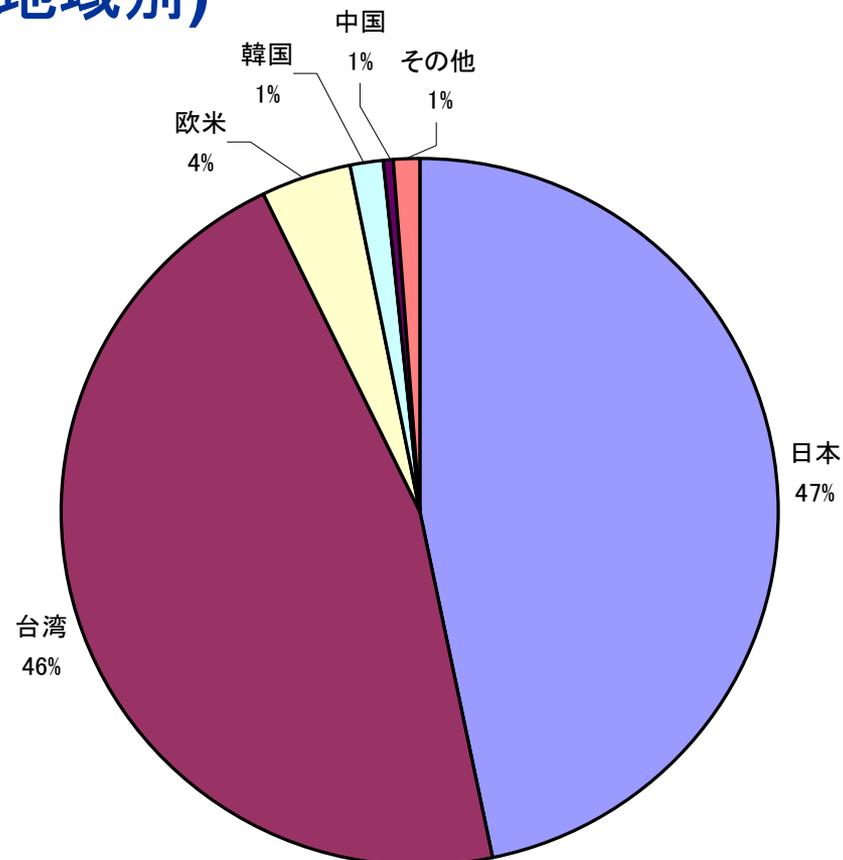
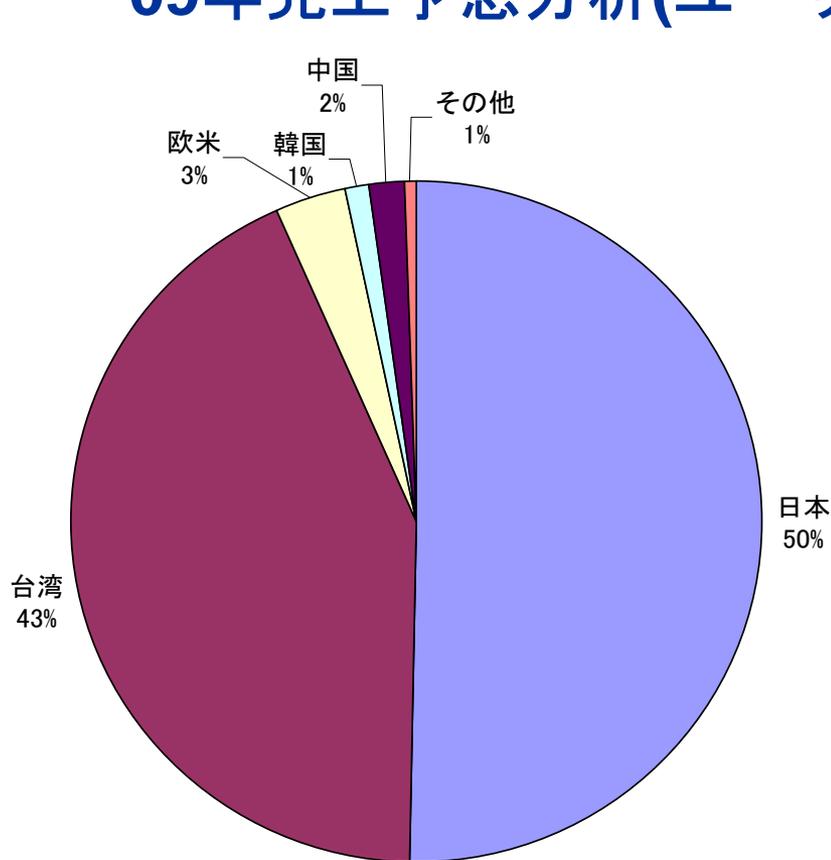
2.中期的な成長のための他分野・他地域への進出

- ・太陽電池向け材料の海外進出
- ・中国・シンガポール・マレーシア市場への注力

3.半導体分野への新製品投入

- ・半導体の更なる微細化への対応

09年売上予想分析(ユーザー地域別)

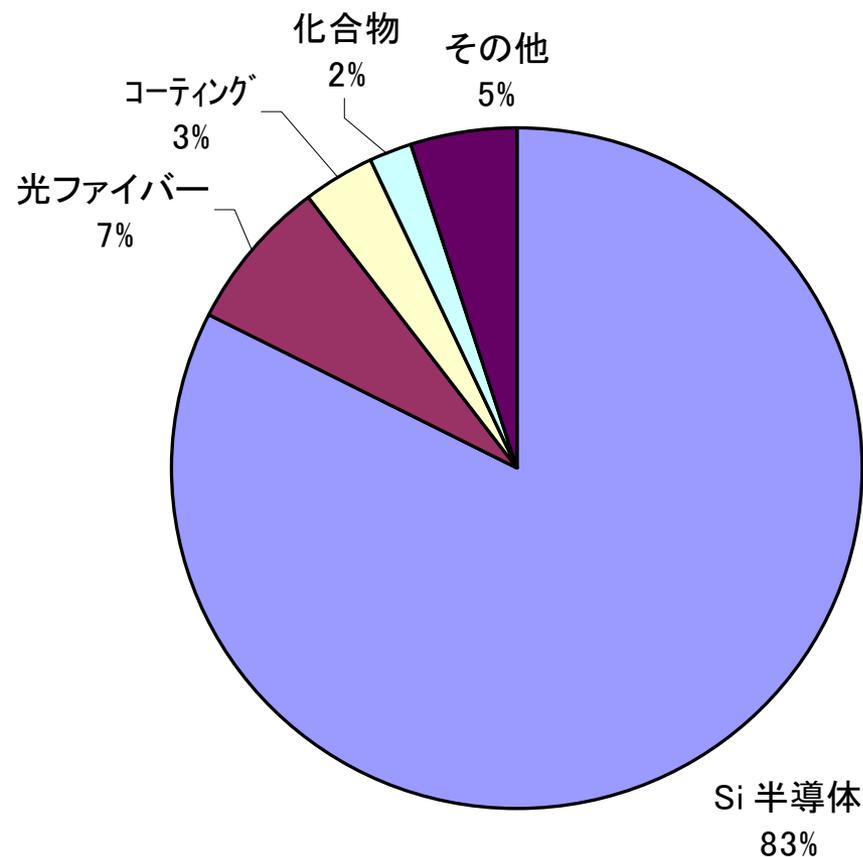


※当社推定による概算値 08/1期

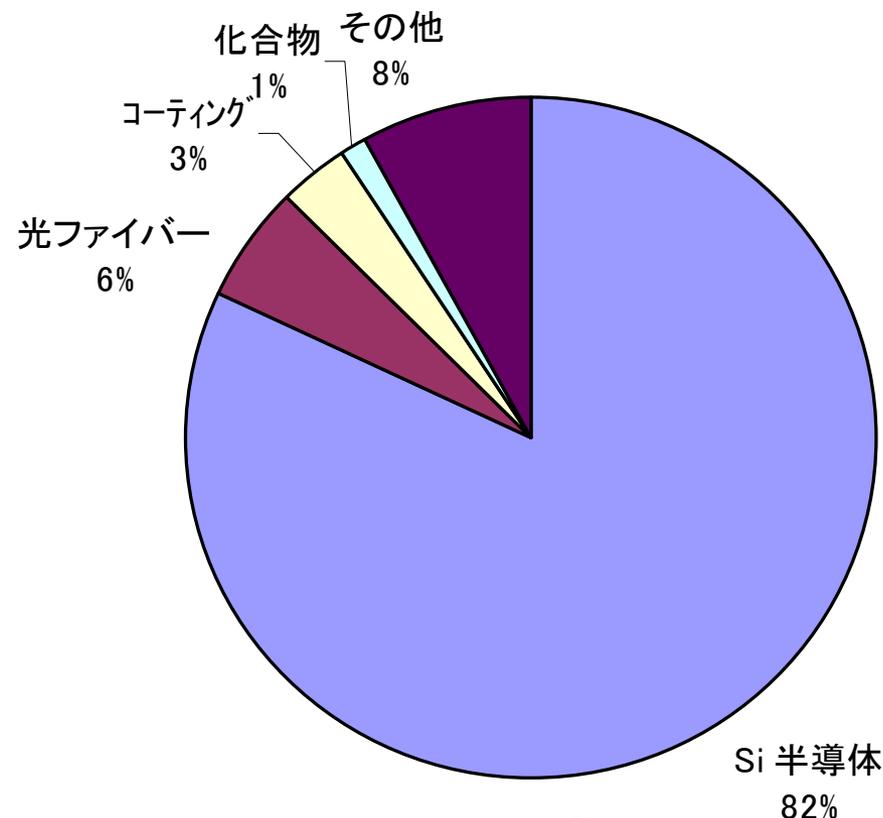
09/1期(予)

！海外向け売上の比率が国内を上回る見込み

09年売上予想分析(製品用途別)



08/1期

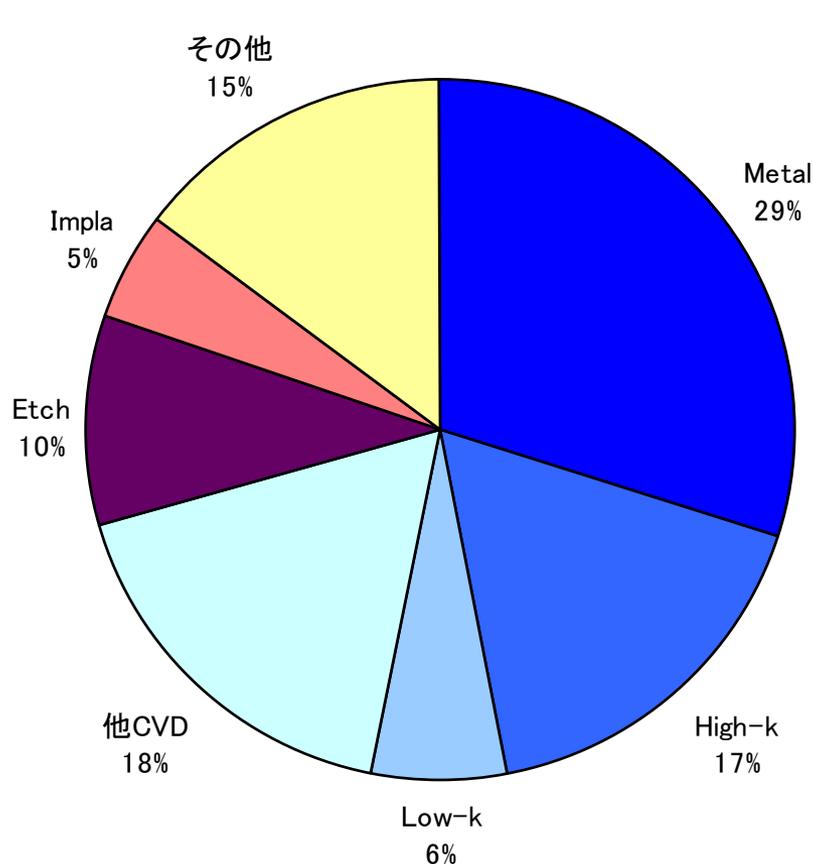


09/1期(予)

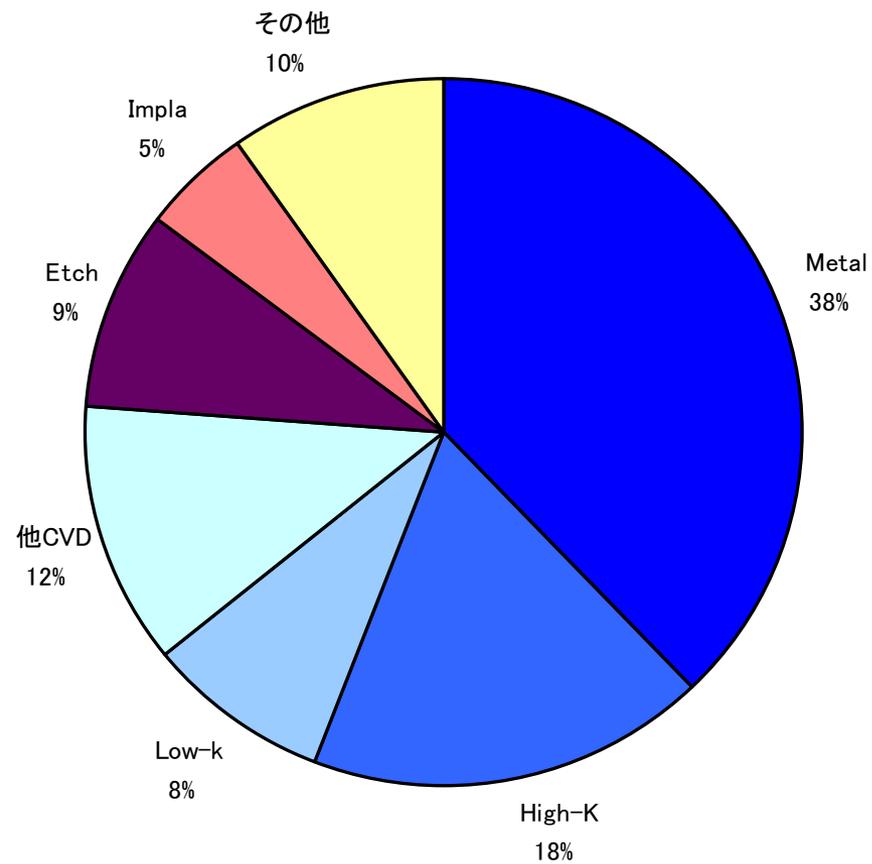
※当社推定による概算値

！ 全般的に増加し、大幅な構成比の変動はない見込み

09年1月期売上予想分析(Si半導体)



08/1期



09/1期(予)

※当社推定による概算値

！メタル・High-K向け材料の伸び



お問い合わせ先: homepageinfo2@trichemical.com